



平成29年9月29日

縁の下の力持ち

27日(水)市内小学校の全教員が教科毎に分かれ授業研究を行いました。本校は、算数科、体育科、道徳の3教科の会場となりました。そこで、会場準備が必要となりますが、これを引き受けてくれるのは6年生です。慌ただしい日程の中、授業をしっかり行った上で、隙間時間を使って、迅速かつ丁寧に行ってくれました。静かに黙々と働く姿には頭が下がる思いです。また、たくさんの来校者を迎えるにあたり、丁寧な清掃も必要です。全校一斉の清掃時間を設定し、その後、一斉下校というのが一般的なのですが、本校ではそれが難しいです。スクールバスの関係上、数回に分けての下校となるためです。そうすると、最後に下校する5・6年生に掃除の全てをお願いすることになります。ここでも黙々と仕事をする姿を見ることができました。掃除をしている場所を回り、「ありがとう」「お疲れ様」の言葉をかけずにはいられない気持ちになりました。表に出ない仕事ですが、本校の子供たちは本当に誠実に行います。普段の生活で奉仕の心、勤労意欲が育っているのだと思います。

1年生の算数、2年生の道徳、3年生の体育、どの授業にも真剣に課題に取り組む子供たちの姿がありました。参観いただいた先生方からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。授業に向かう姿勢も日頃から身に付けていないと、このような機会には発揮できません。学習の成果がこのようなところにも表れており、私も幸せな気持ちになりました。

今日の成果を支えているのは高学年の子供たちの働きです。おかげで下学年の子供たちは価値ある学びができました。高学年が縁の下の力持ちとなり、下学年が活躍できるとても幸せな学校です。この校風を大切にし、子供たちの更なる成長につながるようにしたいという思いを強くしました。



〈掃除をする子供たち〉